

会 議 録

会議の名称	第2回 大和郡山市地域公共交通会議	
開催日時	平成19年12月4日(金) 15:00～16:00	
開催場所	市役所2階200会議室	
事務局	大和郡山市 企画政策部 企画政策課	
出席	委員	別紙のとおり
	事務局	矢田企画政策部長、北森企画政策課長、 徳田企画政策課長補佐、澤田
欠席者	別紙のとおり	
議題	本市コミュニティバス新規路線について	

議 事 概 要

1. 市長挨拶

皆さん、お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

本市のコミュニティバスは約4年前にスタートしておりまして、今年の10月31日からは平和地区まで路線を拡張することとなり、その出発式を行ったところです。今後もコミュニティバスを交通空白地域に広げていきたいと考えていますが、経費の問題もありますので、その成果を見極めて検討していかなければなりません。国や県からいろんな教えをいただきながらコミュニティバスの展開に向けて、移動のあり方をソフト・ハードの両面から検討していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

2. 委員紹介

前回欠席の2名(奈良県タクシー協会と三都交通株式会社)の委員紹介及び、今回、欠席1名(奈良県バス協会)について、それぞれ事務局から報告する。

委員の出席が過半数であるため、本会議が成立する旨の報告をする。

3. 議 題

事務局から「交通空白地域におけるコミュニティバス運行」における以下

の点について配付資料に沿って説明する。

大和郡山市コミュニティバス新規路線 概要
道路運送法第4条
新規路線図（元気治道号、元気平和号）
前回の1路線1台から2路線2台に変更した
新規バス車体イメージ

以下、議長（会長）により議事進行。

< 質疑応答 >

奈良運輸支局 路線経路について、もう少し詳細まで説明してください。

事務局 資料2, 3の路線図に沿って、運行経路順に停留所等について説明する。

三都交通(株) 今回の路線のように住宅地の中まで運行されると、タクシー業界としては厳しくなると思います。地域住民の方には大変申し訳ないのですが、タクシー業界が成り立たなくなってしまうのではないかという危機感を感じます。

上田会長 貴重な意見ありがとうございます。公共交通については、それぞれの役割分担が必要ではないでしょうか。具体的には、今回のコミュニティバスの新規路線は1日3便となっておりまして、1日5便、10便走らせることは市の財政の関係上できません。また、今回のコミュニティバス車両は車椅子対応となっておりませんし、家の玄関まで行くわけではありません。そういった部分について役割分担し、それぞれの立場の方々が活きるようにやっていきたいと考えています。

タクシー協会 まさに役割分担・すみわけが必要だと思います。タクシーは最後の公共交通手段として、公共交通として残したいと考えています。三都交通では回転シートを導入するなど社会貢献もしておられますし、そのようなタクシーがなくなってしまうと不都合を感じる人もおられるのではないのでしょうか。ですから交通空白地域をできるだけ最小限に絞ってもらいバスとタクシーが共存できればと思いま

す。例えば、バスに乗るために停留所までタクシーを使うといった、バスとうまく連携がとれるような仕組みを考えながら、効率の良い総合的な旅客輸送形態ができるように考えてほしいです。

上田会長 ありがとうございます。「共存と連携」という提案でありましたが、良い提案ですので、今後、事務局に考えていてもらいたいと思います。三都交通（株）のように福祉タクシーにも取り組んでもらっているし、「共存と連携」に向けてアイデアを出していただき、総合的な旅客輸送形態を模索していきたいと思います。

事務局 バス車両について申し添えたいことがあります。今から車両の手配をしますと最短でも平成20年5月頃の納車となりますので、運行開始の平成20年2月には間に合いません。従いまして、納車されるまでの間につきましては奈良交通（株）の中型バス車両を代用しますのでご了承下さい。

郡山土木 1日3便となっておりますが、運行時間帯を教えてください。また、地域のニーズで今回の新規路線を設定されているのでしょうか。利用率等で便数等が変わってくることもあるのではないのでしょうか。

事務局 運行時間帯については朝、昼、夕方となっております。
1路線から2路線にすることで予算がオーバーした関係で、1日3便になりましたが、地元の意見等を聞きながら再検討していきます。当初は、事務局案で運行していきたいと考えています。

三都交通(株) 先ほどの「共存と連携」についてですが、すぐにはアイデアが浮かびませんので、今後はもっと事前にこの会議をしてもらいたいという思いがあります。今回の路線についてもコース変更等があれば早めに御連絡いただきますようお願いいたします。

タクシー協会 できあがったものを認める会議ではいけません。アイデアも出てきません。もっと事前に教えていただきたいです。なぜかというところ、乗合タクシーというのがあり、今回のコミュニティバス（乗客定員12名）とよく似たジャンボタクシー（乗合）で対応できるのではないかという思いがあります。タクシーとバスでは運行経費が全く違

ってきますので、その点でも運行をできるだけ効率よいものにできたのでは…。

沼田委員 先日、コミュニティバスについてのアンケートを自治会内で実施しました。その結果から、乗りたいけどバス停にまで行けないという人がいることが分かりました。

タクシー協会 そういう場合に、近所の人同士で時間調整をして乗合タクシーを利用するという仕組みもあるんですね。

奈良県交通運輸産業労働組合協議会 家から出られないお年寄りの方は多いです。その点からも高齢者の移動手段としての究極がタクシーであると思います。この会議で将来のことを話し合っていくことが必要ですね。

奈良運輸支局 この会議をうまく活用してアンケート等の調査をもとに大和郡山市全体の交通体系を作っていければいいですね。

タクシー協会 このような会議では、よく「タクシー業界が困る」という捉え方をされてしまいます。そうではなくて、できるだけ税金を効率よく使うという趣旨で意見していますので誤解のないように…。空白地域にコミュニティバスをどんどん走らせるとお金がかかってきますので、コミュニティバスだけを考えるのではなくて、その他にも効率の良い手段がいろいろあるということです。

沼田委員 上田会長が言っていたように、すみわけ・役割分担が重要になってくるんですね。バス停まで行ける人、行けない人といったことへの対応等いろいろな役割があると思います。

坂口委員 治道地区は大和郡山市と天理市の境目ですので、天理市の病院に行く人や買い物に行く人がいます。乗合タクシーを宣伝すればタクシー利用者が増えるという思いもあります。今後どうなるか分かりませんが、乗合タクシー等もPRして、それぞれの立場の方々がうまくいけばと思います。

上田会長 交通空白地域の人たちにとっては、バスが来てくれるということが元気のもとになると思います。またバスに限らず、それぞれの立

場の方々が役割分担・すみわけして、「共存と連携」ができるようにしていかなければなりません。

4 . 議題についての承認

上田会長 本日の議題である「空白地域におけるコミュニティバス運行」による新規路線についてですが、異議はありませんでしょうか？

一同異議なし

上田会長 異議がないようですので、承認とさせていただきます。この新規路線でずっとやっていくわけではありませんので、会議の意義を踏まえて今後もまた開催し、再検討する必要がある場合は再検討していきたいと思いますので、皆さん、今後ともよろしくお願いします。本日は、どうもありがとうございました。

以下余白